

# ようじえんだより 2023年度4月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 4月主題『よろしくね』

主題聖句：子供たちをわたしのところに来させなさい。マルコによる福音書10章14節  
☆ 0歳児：神さまからお預かりしている大切な存在として生まれる。はじめての場所や人と出会う。春の陽ざしや風に心地よさを感じる。(保育者は)一人ひとりの生活リズムや発達段階に合わせ、安心して過ごせるように関わっていく。

☆ 1～2歳児：保育者の祈りや讃美を聞き、心地よさを感じる。出会いやつながりの中で安心して過ごす。春の自然に出会って喜ぶ。(保育者は)新しい出会いが喜びにつながるように一人ひとりの姿をしっかり受け止める。

☆ 3歳児：保育者と祈り、讃美する中で、目に見えない神さまを知る。新しい生活の中で信頼できる人とつながっていく。自分が大切にされていることを感じて安心する。(一人ひとりの思いを受け止め、信頼関係を結ぶ。

☆ 4～5歳児：神さまの愛に包まれていることを感じながら、安心して新しい生活を始める。出会いへの期待、不安などありのままの姿が受け止められ、好きな遊び、場所、人を見つける。身近な自然(草花や虫など)を感じ、美しさ、おもしろさに気づく。(保育者は)一人ひとりの姿をとらえ、保護者、保育者間で繰り返し伝えあいながら信頼関係をつむぐ。

## 「おめでとう」と言うけれど…

入園・進級おめでとうございます。子どもたちが神様のお守りの中で日々成長して新しいクラスで歩み出すことは、何にもまして神様に感謝すべきことだと思います。しかし私自身の幼い頃を振り返る時、「入学おめでとう」と言われてうれしかった記憶はあまりありません。なぜなら新しい環境に入っていくことは喜びよりも不安が募り、疲れやすくなりまた体調を崩しやすい時期でもあったからです。

幼児期の子どもはとりわけ敏感で、通い慣れた園であっても、担任やお部屋がかわるだけですぐ不安定になることもあります。「赤ちゃん返り」と呼ばれる一種の退行現象ですが、そ

れほどまでにこの春の新しい環境に入っていくにあたり、子どもたちは私たちが思っている以上の緊張を強いられているのです。だからこそ励ましの言葉をお願いします！

## 春の風について…

春になると草花の匂いが風についてやってきます。そのたびに新しい環境に入ったあの時のことを思い出します。それは心細い気持ちなのですが、その時の気持ちを思い出すことは大切なことだと思うようになりました。人間は慣れてくるとその時の気持ちを忘れ、尊大になり、様々な失敗を起こすものです。だからこそ初心を思い出す出発の時は貴重なのだと思います。

園長:久保田愛策

## 年間主題『ともにつむぎだす～希望の中で～』

主題聖句：キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章17節